

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校大阪デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
デザイン専門課程	グラフィックデザイン学科	夜・通信	10単位 (300時間)	7単位 (160時間)	
	イラストレーション学科	夜・通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	ゲーム・GC学科	夜・通信	8単位 (180時間)	7単位 (160時間)	
	アニメーション学科	夜・通信	10単位 (300時間)	7単位 (160時間)	
	フィギュアデザイン学科	夜・通信	10単位 (300時間)	7単位 (160時間)	
	マンガ学科	夜・通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	コミックイラスト学科	夜・通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	インテリアデザイン学科	夜・通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	インテリアコーディネート学科	夜・通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	プロダクトデザイン学科	夜・通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	ファッションデザイン学科	夜・通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	特殊メイク学科	夜・通信	10単位 (300時間)	7単位 (160時間)	
	研究科	夜・通信	8単位	4単位	
(備考) ()内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を併記している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公式ホームページ メインページ最下段

「実務経験のある教員の授業について(PDF)」にて一覧表を公表

<https://www.odc.ac.jp/sitemap/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校大阪デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.odc.ac.jp/sitemap/>
職業実践専門課程 情報公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学教授 (2022年4月1日～現職)	2024年6月29日 ～ 2029年の定時評 議員会終結の時	ガバナンスの強化
非常勤	大学における科学技術 アドバイザー (2021年6月1日～現職) 大学教授 (2025年4月1日～現職)	2024年10月31 日～ 2029年の定時評 議員会終結の時	ガバナンスの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校大阪デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。	
授業計画書の公表方法	D1 校舎1階事務局へ設置し一覧表を公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果は授業担当者の評価を学科長が確認を行い最後に学校長が確認した上で単位の認定を行う。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) (概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 (算出) (教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	公式ホームページ「入学案内」「高等教育の修学支援新制度」ページ 中段「高等教育の修学支援新制度に係る確認申請書」部に公表 https://www.odc.ac.jp/koutoushien/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として単位 62 単位以上を取得、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	公式ホームページ「入学案内」「高等教育の修学支援新制度」ページ 中段「高等教育の修学支援新制度に係る確認申請書」部に公表 https://www.odc.ac.jp/koutoushien/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校大阪デザイナー・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 https://www.akademeia21.com/financial/
収支計算書又は損益計算書	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 https://www.akademeia21.com/financial/
財産目録	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 https://www.akademeia21.com/financial/
事業報告書	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 https://www.akademeia21.com/financial/
監事による監査報告（書）	公式ホームページ メインページ最下段「財務情報」にて公表 https://www.akademeia21.com/financial/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	グラフィックデザイン 学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	24 単位 (360 時間)		48 単位 (1,440 時間)			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
200 人		175 人	18 人	3 人	21 人		24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。

卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
79 人 (100%)	0 人 (0%)	65 人 (82.3%)	14 人 (17.7%)
（主な就職、業界等） デザインプロダクション、印刷会社、広告代理店、一般企業のデザイン部等			
（就職指導内容） 校内合同説明会、グループ校合同の就職イベント開催、ポートフォリオ指導、企業見学会、面接指導、個別相談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩士検定 2 級、3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
162 人	6 人	3.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良、精神的な病。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		デザイン 専門課程	イラストレーション学 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	16 単位 (240 時 間)		52 単位 (1,560 時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		64 人	8 人	2 人	14 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 18 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 (100%)	4 人 (12.5%)	28 人 (87.5%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） デザイン業界 広告制作 雑貨デザイン等			
（就職指導内容） キャリアセンターセミナー、個別面談 ハローワーク登録 校内合同企業説明会 担任個別面談、グループ校合同の就職イベント開催等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩士検定 2 級、3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	6 人	9.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更、精神・体調不良、結婚、帰国、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	ゲーム・CG 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	8 単位 (120 時 間)	8 単位 (120 時 間)	52 単位 (1,560 時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		49 人	17 人	2 人	13 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30 人 (100%)	2 人 (6.7%)	23 人 (76.7%)	5 人 (16.6%)
(主な就職、業界等) ゲーム開発、アニメーション制作、イラスト制作、フィギュア制作、システム制作等			
(就職指導内容) 作品制作指導、面接指導、グループ校主催の就職イベント開催、外部就職イベント、外部アニメーションコンテスト参加、企業作品アドバイス会等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	3 人	5.6%
(中途退学の主な理由) 就学意欲低迷、精神・身体的な不調など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	アニメーション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	32 単位 (480 時 間)	8 単位 (120 時 間)	40 単位 (1,200 時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		44 人	8 人	2 人	8 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	1 人 (4.8%)	16 人 (76.2%)	4 人 (19.0%)
(主な就職、業界等) アニメーション業界（アニメーター、仕上げ、アニメ制作進行）等			
(就職指導内容) グループ校合同の就職イベント開催、業界情報の入手方法、履歴書の作成 ポートフォリオ制作指導、模擬面接指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定 2 級、3 級 アニメータースキル検定 5 級、6 級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	4 人	9.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的な病によるもの。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	フィギュアデザイン学 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	40 単位 (600 時 間)		40 単位 (1,200 時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		32 人	8 人	2 人	7 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 18 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	1 人 (5.0%)	19 人 (95.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) フィギュアメーカー、プラモデルメーカー、原型制作会社、模型問屋、玩具小売店、 玩具業界、造形業界等			
(就職指導内容) 企業マッチングと企業に合わせた就職活動用作品制作の指導 グループ校合同の就職イベント開催等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	2 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神疾患を起因とした就学意欲低下。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	マンガ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	28 単位 (420 時 間)		46 単位 (1,380 時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		30 人	0 人	1 人	8 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 18 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	3 人 (18.7%)	13 人 (81.3%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) マンガ業界等			
(就職指導内容) マンガ作家やマンガ家アシスタントになる為の作品制作アドバイス、編集部への持込み 投稿方法の指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) なし			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 精神的不調や進路変更のため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	コミックイラスト学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	12 単位 (180 時 間)	8 単位 (120 時 間)	50 単位 (1,500 時間)			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
200 人		164 人	11 人	3 人		28 人		31 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
67 人 (100%)	7 人 (10.4%)	50 人 (74.7%)	10 人 (14.9%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、アニメ業界、イラスト業界、グッズ業界、Web 業界 (職種) 2D イラストレーター、2D キャラクターデザイナー、背景デザイナー、グッズデザイナー、Web デザイナー等			
(就職指導内容) 業界説明会や講演会、校内合同説明会、作品制作やポートフォリオ指導、面接指導、個別相談等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定 2 級、3 級(希望者のみ)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
162 人	8 人	4.9%
(中途退学の主な理由) 入学時に希望していた業界との齟齬。学習意欲低下、体調不良、精神疾患。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	インテリアデザイン学 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	44 単位 (660 時 間)		36 単位 (1,080)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		26 人	7 人	1 人	10 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	1 人 (5.5%)	16 人 (89.0%)	1 人 (5.5%)
(主な就職、業界等) 店舗設計、店舗施工、住宅設計、住宅リフォーム、家具販売等			
(就職指導内容) グループ校合同の就職イベント開催、自己分析、履歴書指導、面接指導、グループワーク等			
(主な学修成果（資格・検定等）) パース検定 2 級（1 年）、色彩士検定 2、3 級（1、2 年）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	3 人	8.8 %
(中途退学の主な理由) 経済的困窮、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		デザイン 専門課程	インテリアコーディネ ート学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	44 単位 (660 時 間)		36 単位 (1,080)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		15 人	0 人	1 人	5 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 住宅設計販売、住宅リフォーム、住宅コーディネーター、ディスプレイ、家具販売等			
(就職指導内容) グループ校合同の就職イベント開催、自己分析、履歴書指導、面接指導、グループワーク等			
(主な学修成果（資格・検定等）) リビングスタイリスト 2 級（1 年）、整理収納アドバイザー（1 年） 色彩士検定 2、3 級（1、2 年）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	1 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 学業不振。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	プロダクトデザイン学 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	28 単位 (420 時 間)	12 単位 (180 時 間)	40 単位 (1,200 時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		27 人	3 人	2 人	11 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (73.3%)	4 人 (26.7%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所、メーカー、家具製造、販売等			
（就職指導内容） ポートフォリオ制作指導、模擬面接、グループ校合同の就職イベント開催等			
（主な学修成果（資格・検定等）） なし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	2 人	6.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更。心身の不調。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		デザイン 専門課程	ファッションデザイン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	24 単位 (360 時 間)		48 単位 (1,440 時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		35 人	6 人	1 人	10 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	1 人 (16.7%)	2 人 (33.3%)	3 人 (50.0%)
(主な就職、業界等) 衣類デザイン製造及び販売／衣類縫製業／服飾小物類部品製造／CAD オペレータ等			
(就職指導内容) 業界研究、インターンシップ、産学連携課題、グループ校合同の就職イベント開催、 履歴書添削、模擬面接会、校内企業説明会、個人面談、就職カウンセリング等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション販売能力検定 2.3 級、パターンメイキング技術検定 3 級 色彩能力検定 2.3 級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	2 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 学業不振。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	特殊メイク学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,920 時間)	16 単位 (300 時 間)		50 単位 (1,500 時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		13 人	2 人	1 人	8 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として 62 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーションで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	2 人 (15.4%)	9 人 (69.2 %)	2 人 (15.4%)
(主な就職、業界等) 造形作家、テーマパーク大道具メンテナンス、メイクアーティスト、ネイリスト 立体造形技師等、エビテーゼ制作、等			
(就職指導内容) 業界研究、インターンシップ、産学連携課題、グループ校合同の就職イベント開催、 工房見学、履歴書添削、模擬面接会、校内企業説明会、個人面談、就職カウンセリング等			
(主な学修成果（資格・検定等）) なし			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	2 人	8.7%
(中途退学の主な理由) 心身不調、進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化教養		デザイン 専門課程	研究科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	31 単位	4 単位	16 単位	20 単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		19 人	6 人	1 人	2 人	3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前にカリキュラム会議にて、学校長、副校長、学科担当者及び授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づきカリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科担当者、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。卒業規定として単位 31 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要） 1. 各学年補習授業実施（夏季、春季休暇）及び週末補講随時実施 2. 不登校学生対象放課後補習授業随時実施（学生相談室と連携） 3. PC ルーム毎日 19 時まで開放随時作品制作アドバイス

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	2 人 (15.4 %)	7 人 (53.8%)	4 人 (30.8%)
(主な就職、業界等) デザイン業界、印刷会社、雑貨デザイン、アパレル業界等			
(就職指導内容) キャリアセンターセミナー、履歴書添削、模擬面接会、校内会社説明会、個別面談等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定 2 級, 3 級			
(備考) （任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 発達臨床心理士カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 クラス担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
グラフィックデザイン学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
イラストレーション学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
ゲーム・CG 学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
アニメーション学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
フィギュアデザイン学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
マンガ学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
コミックイラスト学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
インテリアデザイン学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
インテリアコーディネート 学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
プロダクトデザイン学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
ファッションデザイン学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
特殊メイク学科	180,000 円	940,000 円	230,000 円	
研究科	100,000 円	500,000 円	50,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.odc.ac.jp/sitemap/ 職業実践専門課程 情報公開		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校自己評価や日常の学校教育に対するの評価・意見内容を教育活動面と学校運営面に分別し、学務・広報・事務の三位の各部門で運営方針に照らし協議・検討する。 その結果、授業内容に取り入れたり、改善・修正を要する場合は、部門より責任者会議に具体的な稟議提案を上申し、最終的判断をすることによって、学校関係者評価の効果的な活用を図る。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
いろいろいろいろ	2025年4月1日～2028年3月31日(任期更新)	企業等委員
株式会社夢現社	2015年4月1日～2027年3月31日(任期更新)	企業等委員
GRAYBLUE	2025年4月1日～2026年3月31日(任期途中で終了)	企業等委員
D-CUBE	2026年4月1日～2029年3月31日(新規就任)	企業等委員
高畑デザイン事務所	2019年4月1日～2027年3月31日(任期更新)	企業等委員
有限会社 リワークス	2021年4月1日～2027年3月31日(任期更新)	企業等委員
フリーランス	2023年4月1日～2029年3月31日(任期更新)	卒業生委員
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.odc.ac.jp/sitemap/ 職業実践専門課程 情報公開		
(備考) 第三者評価は実施しておらず、評価の基本方針および評価の委員については学校関係者評価の内容を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公式ホームページにて公表 https://www.odc.ac.jp/
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310000353
学校名（〇〇大学 等）	専門学校大阪デザイナー・アカデミー
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 21世紀アカデメイア

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		174人（ 72 ）人	162人（ 64 ）人	180人（ 76）人
内 訳	第Ⅰ区分	78人	76人	
	（うち多子世帯）	（ 19人）	（ 15人）	
	第Ⅱ区分	31人	27人	
	（うち多子世帯）	（ -）	（ -）	
	第Ⅲ区分	23人	17人	
	（うち多子世帯）	（ -）	（ -）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	17人	13人	
	区分外（多子世帯）	25人	29人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				180人（ 76）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	人	-	-
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	-
計	人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	-

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	11人	18人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	人	-	12人
計	人	12人	30人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。